第３５回　関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会

次　　第

日　時　令和８年９月７日（月）１３：３０～

場　所　ホテル日航関西空港（１階　大会議場　鶴）

１　開　会

２　議　事

(1)　航空機騒音等について

(2)　新飛行経路導入後の状況について

(3)　「環境面の特別の配慮」の措置状況について

(4)　その他

３　閉　会

（資料）

○　資料－１　航空機騒音測定結果

○　資料－２　飛行経路・高度観測結果

○　資料－３　航空機騒音に係る苦情・問い合わせ件数

○　資料－４　新飛行経路導入後の状況

○　資料－５　「環境面の特別の配慮」の措置状況

資料1
(KAP作成資料)

航 空 機 騒 音 測 定 結 果

上段:Lden(dB)
下段:WECPNL

場　　所	94年度	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	2026年度 4月	2026年度 5月	2026年度 6月	環境基準 地域類型	環境基準 基準値	備考
大阪市　住之江区南港北																				26	25	24	26	26	25	21	13	18	18	19	21	30	32	32	32	Ⅱ	62	常時測定
					41	41	41	39	39	38	40	38	37	40	40	36	34	35	36	37	36	36	36	37	36	32	23	29	29	30	32	43	42	41	42		75	
貝塚市　二色３丁目																				40	41	40	41	41	40	40	37	36	37	38	38	34	33	32	35	Ⅰ	57	
	55	57	53	56	55	54	54	53	54	54	54	54	53	54	53	52	52	53	52	52	52	52	52	52	52	52	49	47	49	50	49	45	44	43	44		70	
泉大津市　汐見町																				36	35	37	37	38	37	37	36	35	35	35	36	34	35	33	31	Ⅱ	62	
	56	53	54	54	53	54	54	53	52	52	54	54	53	51	50	49	49	50	48	47	46	47	48	48	48	50	47	47	47	46	47	46	45	44	42		75	
泉佐野市　りんくう往来南																				42	42	40	40	40	39	38	38	38	36	37	35	34	33	33	33	Ⅱ	62	
	50	50	53	51	51	50	51	52	52	52	52	50	52	50	53	52	52	52	52	52	53	52	51	51	51	50	49	49	48	48	46	48	46	44	44		75	
岬　町　多奈川小島																				49	49	49	49	48	48	48	47	45	45	46	45	37	36	34	34	Ⅰ	57	
	62	62	62	62	63	63	63	62	62	61	62	61	61	60	58	59	59	59	59	59	60	60	61	60	60	59	59	57	57	57	56	49	48	46	46		70	
堺　市　南区庭代台																				24	29	24	26	26	27	28	9	23	21	13	18	30				Ⅰ	57	定期測定
	47	36	46	40	28	35	35	34	35	39	37	37	39	42	41	35	32	32	34	35	39	37	36	35	38	37	21	31	30	23	26	41					70	
和泉市　和田町																				11	29	21	24	26	30	26	18	19	19	17	26	30				Ⅱ	62	
	―	―	21	34	―	30	30	33	35	37	35	36	38	39	39	34	28	32	32	21	39	29	36	36	40	36	28	30	29	27	36	41					75	
熊取町　希望が丘																				21	26	23	22	24	29	20	20	18	20	20	15	25				Ⅰ	57	
	―	47	42	48	38	32	30	31	36	37	37	37	―	28	31	29	26	32	34	32	36	34	31	35	40	30	30	34	31	30	28	37					70	
高石市　高砂３丁目																				26	28	15	18	32	11	19	―	24	19	23	―	16			28	―	―	定期測定
	45	43	51	45	42	43	34	36	32	28	32	34	43	42	35	40	32	42	41	37	40	26	33	44	19	32	―	38	30	36	―	27			39			
忠岡町　新浜３丁目																				32	34	25	33	39	30	20	―	24	―	―	―	13			22	Ⅱ	62	
	55	53	57	55	55	53	52	53	52	51	53	54	52	50	45	47	47	47	46	47	45	41	44	48	40	30	―	35	―	―	―	31			41		75	
岸和田市　臨海町																				33	34	34	29	31	32	31	33	27	30	25	29	17			22	Ⅱ	62	
	55	55	54	57	58	54	55	54	55	53	53	52	48	49	49	47	44	45	46	45	44	45	39	43	43	41	44	37	40	34	40	29			34		75	
田尻町　りんくうポート南																				42	38	37	41	41	40	39	37	38	38	39	35	38			37	Ⅱ	62	
	57	54	52	55	54	54	56	53	54	55	55	52	55	53	50	49	49	49	49	52	49	48	52	51	51	49	48	50	49	50	47	49			48		75	
泉南市　りんくう南浜																				38	34	41	41	40	39	40	36	37	37	42	37	37			29	Ⅱ	62	
	56	53	54	59	58	58	59	57	58	57	56	51	58	57	53	51	53	51	47	48	44	54	54	53	50	54	45	48	48	53	47	48			43		75	
阪南市　箱作																				38	40	41	41	39	40	36	35	36	35	39	35	34			35	Ⅰ	57	
	53	52	52	56	55	54	56	52	53	54	54	49	55	53	54	49	51	50	42	49	51	53	52	50	51	46	46	47	47	50	44	45			47		70	

【注1】「－」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが無かったことを示す。空白は測定していないことを示す。
【注2】1994年度は、9月4日以降の測定結果である。
【注3】定期測定の1回あたりの測定日数は1998年9月までは3日間／回、以降は7日間／回である。
【注4】大阪市住之江区南港北及び貝塚市二色3丁目は、1998年12月から常時測定を実施している。
【注5】1994年度から1997年度まで堺市は築港新町、岸和田市は地蔵浜町、和泉市は府中町、
熊取町は1995年度まで野田、1997年度まで大久保で測定していた。高石市は1998年度から2022年度まで高砂2丁目で測定していた。
【注6】定期測定の実施回数は、2002年度までは全地点で年4回、2003、2004年度は堺市庭代台、和泉市和田町、高石市高砂2丁目
熊取町希望が丘で年2回、その他の地点で年4回である。2005年度は全地点で年2回である。
2006年度は、堺市南区庭代台、高石市高砂2丁目、和泉市和田町、熊取町希望が丘で年1回、その他の地点で年2回である。
2007年度は、堺市南区庭代台、高石市高砂2丁目、和泉市和田町、熊取町希望が丘で年3回、その他の地点で年4回である。
2008年度は、全地点で年4回である。
2009年度は年3回、2010年度からは、全地点で年2回である。
2013年4月1日から航空機騒音の評価量は時間帯補正等価騒音レベルLdenに改正された。
2015年度は、堺市南区庭代台、和泉市和田町、熊取町希望が丘で年1回、その他の地点は年2回である。
【注7】2016年度の堺市南区庭代台は、測定場所の庭代台中学校が工事中だったため近隣の御池台小学校で測定を実施した。
【注8】田尻町りんくうポート南は、測定場所の吉見ポンプ場が工事中だったため、2022年度2回目、2023年度1回目の測定を近隣のふれ愛センター（田尻町　嘉祥寺）で実施した。
【注9】高石市高砂2丁目の測定地点（工場）が2022年度で廃止されたため、2023年度から高石市高砂3丁目で測定を実施している。
【注10】2026年度の値は速報値である。

※環境基準について
2013.3.31まで WECPNLの値で評価
2013.4.1からLdenの値で評価
なお、環境基準は、地域類型によって異なる。
類型Ⅰ：専ら住居の用に供される地域
類型Ⅱ：Ⅰ以外の地域であって通常の生活を

飛行経路･高度　観測結果

2025年10月分

観測断面（離陸）	飛行高度(ft) 最高	飛行高度(ft) 最低	観測機数	観測年月日
大阪市　住之江区南港北	11,300	5,700	42	2025年10月 2日（木） ～ 4日（土）

2025年12月分

観測断面（離陸）	飛行高度(ft) 最高	飛行高度(ft) 最低	観測機数	観測年月日
貝塚市　二色３丁目	14,800	7,500	108	2025年12月 1日（月） ～ 7日（日）

2026年 6月分

観測断面（離陸）	飛行高度(ft) 最高	飛行高度(ft) 最低	観測機数	観測年月日
貝塚市　二色３丁目	18,100	7,400	107	2026年 6月 1日（月） ～ 7日（日）

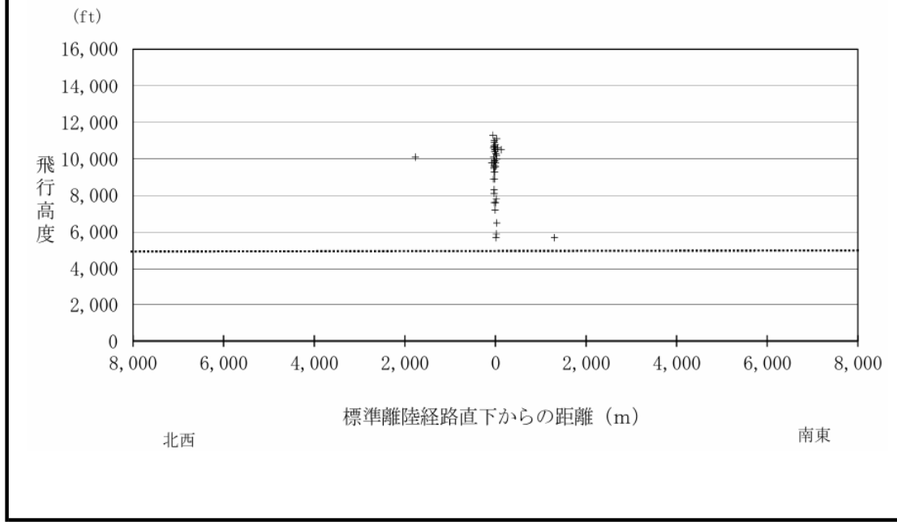
資料２

（KAP作成資料）

飛行経路･高度　観測結果（断面図）

観測対象	離陸機
観測日	2025年10月2日～4日
観測断面	大阪市　住之江区南港北

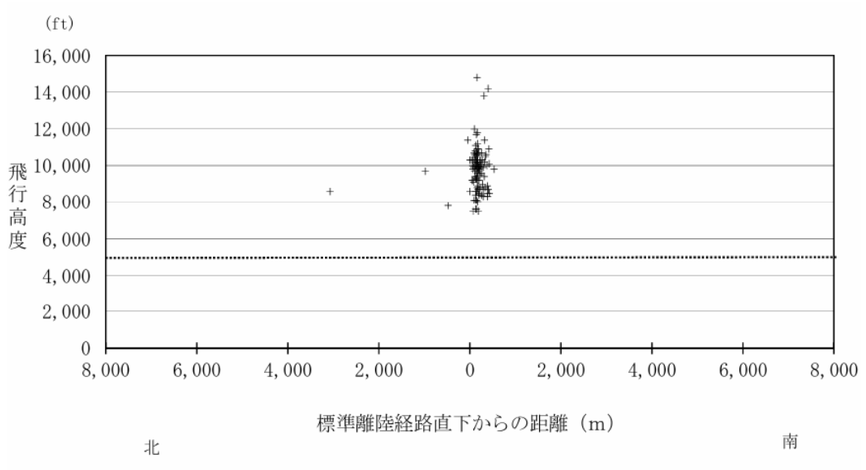
観測機数	42機
最高高度	11,300ft
最低高度	5,700ft



飛行経路･高度　観測結果（断面図）

観測対象	離陸機
観測日	2025年12月1日～7日
観測断面	貝塚市　二色3丁目

観測機数	108機
最高高度	14,800ft
最低高度	7,500ft

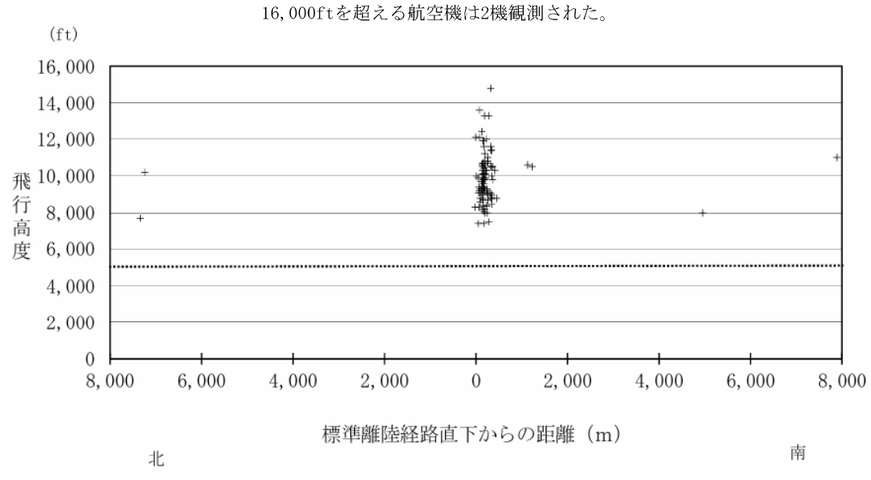


飛行経路･高度　観測結果（断面図）

観測対象	離陸機
観測日	2026年6月1日～7日
観測断面	貝塚市　二色3丁目

観測機数	107機
最高高度	18,100ft
最低高度	7,400ft

16,000ftを超える航空機は2機観測された。



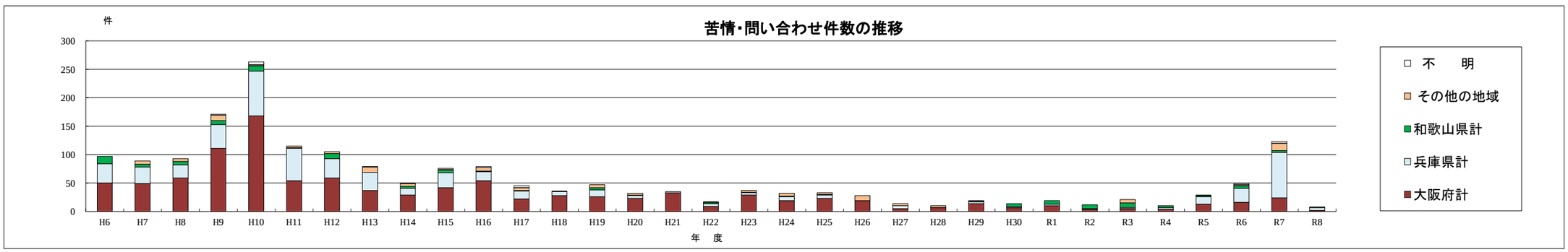
資料3

（KAP作成資料）

航空機騒音に係る苦情・問い合わせ件数

	区分 / 地域	1994 H6 年度	1995 H7 年度	1996 H8 年度	1997 H9 年度	1998 H10 年度	1999 H11 年度	2000 H12 年度	2001 H13 年度	2002 H14 年度	2003 H15 年度	2004 H16 年度	2005 H17 年度	2006 H18 年度	2007 H19 年度	2008 H20 年度	2009 H21 年度	2010 H22 年度	2011 H23 年度	2012 H24 年度	2013 H25 年度	2014 H26 年度	2015 H27 年度	2016 H28 年度	2017 H29 年度	2018 H30 年度	2019 R1 年度	2020 R2 年度	2021 R3 年度	2022 R4 年度	2023 R5 年度	2024 R6 年度	2025 R7 年度	2026 R8 年度※2	累計
大阪府	大阪市※1																	1	4						1	2		2	1	2	1			9		23
	堺市		1		6	6	2	4	5	3		7	2	1	1	1	14	1	1	2	4	2	1		1		2		1				1		69
	高石市			2		4	1	2				1			2	1					2	1												16
	忠岡町		1	1			1		1																									4
	岸和田市	12	9	10	11	16		3	1	1	10	5	6	5	4		4		6	6	5	3	2	1	1									121
	泉大津市	1		2	2	3								1			1		2			1		1										14
	貝塚市	2	9	7	32	56	19	6	6	3	9	1	1	4	5	2	1		4	4	4	2			3	1			1	1			5		188
	和泉市	2	2			1	1	5		1		2	2	2			1		1	1		1											4		26
	熊取町		1		1	1	1	3	2	1							1		1	2															14
	泉佐野市	1	3	4	5	5		2			7	5	1	1	1	3	5		1	1	1	1	2		2	4	1	1				1	3		61
	田尻町																1				1														2
	泉南市	4	5	6	21	27	9	3	3	1		12	1	1	1	1	1	2		1		2		1	2	1	1			1		1			108
	阪南市	7	5	2	7	21	7	11	12		1	2		4	1	1	2	1	4			4			1			1		1					95
	岬町	21	13	25	19	17	7	12		8	9	6	3	1	4	6	1	2	1		1	1		1				1			1	1	1	162
	その他				7	11	6	8	7	11	6	13	6	8	7	8	1	2	4	2	5	1		2	2	1	4	1			13	13	1	1	151
	大阪府計	50	49	59	111	168	54	59	37	29	42	54	22	28	26	23	33	9	29	19	23	19	5	7	14	7	10	4	5	4	13	16	24	2	1,054
兵庫県	神戸・明石	11	6	4	10	8	4		2	1	3	4	1	2	1			2	1	3	1						2			1	1	5	1	4	78
	淡路島地区	22	23	19	29	67	53	31	30	10	21	10	11	5	8	5	1	2	2	3	3		4		1	2		1	2	2	12	20	78	1	478
	その他	1			3	4		3		1	2	2	2		3		1	1	1	1	2		1		2		1						1		32
	兵庫県計	34	29	23	42	79	57	34	32	12	26	16	14	7	12	5	2	5	4	7	6		5		3	2	3	1	2	3	13	25	80	5	588
和歌山県	和歌山市	12	3	5	3	2		4		3	3	1			3	1		2	1		1					5	6	7	8	3	2	3	3	1	82
	その他	1	2	1	4	7	1	5			1		1		1					1												1			26
	和歌山県計	13	5	6	7	9	1	9		3	4	1	1		4	1		2	1	1	1					5	6	7	8	3	2	4	3	1	108
	その他の地域		6	5	9	2	3	3	9	5	2	6	5	1	5	3		1	3	5	3	9	4	3	1				6			2	13		114
	不明				2	5			1	1	2	2	3												1						1	2	3		23
合計		97	89	93	171	263	115	105	79	50	76	79	45	36	47	32	35	17	37	32	33	28	14	10	19	14	19	12	21	10	29	49	123	8	1,887

※1 大阪市の内訳については、H21年度より。（H21は「0」）
※2 R8年度は4～6月。

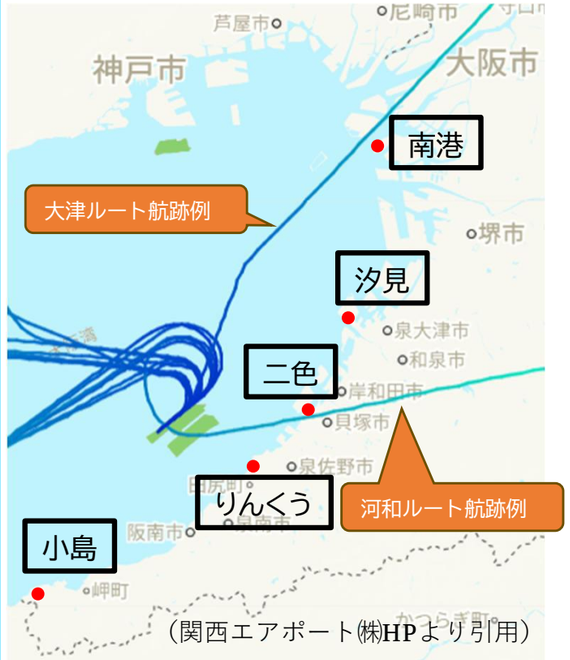


新飛行経路導入後の状況

資料４
（KAP作成資料）

2025年3月20日より新飛行経路の運用が開始された。
⇒ 発着調整基準：１時間あたり**45**回 → **60**回
（関西国際空港の年間発着容量を**23**万回から**30**万回に拡大）

【環境監視の強化】
・飛行情報の一般公開
騒音情報及び１便毎の飛行情報（航跡、高度、日時情報など）を関西エアポート㈱のホームページに原則、翌営業日に公開
・経路外飛行時の情報共有
経路外飛行について、関西エアポート㈱が、システムで自動抽出し、管制からの報告を集約し、自治体（泉州９市４町、大阪市、大阪府）へ情報提供
・環境影響に関する連絡調整会議
安全性の確保を前提に、住民の生活環境への負担をできる限り軽減するため、国土交通省、関西エアポート㈱、大阪府の専門職等で構成する「環境影響に関する連絡調整会議」を新たに設置し、システムで収集したデータを基に、飛行状況、騒音状況、苦情発生状況などを分析・議論



（関西エアポート㈱HPより引用）

図 飛行ルート及び騒音常時監視測定局位置図

2025年度の状況

運航状況	○ 発着回数は、**2024**年度**19.9**万回から、**2025**年度**20.7**万回に増加した。（前年度比**104%**）
騒音値	○ 常時測定局の騒音値は表に示すとおり、予測レベルと比較して下回っていた。 ○ また、環境基準を大きく下回る結果となった。 →詳細は資料１
飛行高度	○ 陸域進入高度については、大津ルート、河和ルートともに定められた制限高度（**5000**フィート）が遵守されていた。 →詳細は資料２
苦情	○ 大阪府域からの苦情は**24**件であった。 ○ 苦情・問い合わせに対して、引き続き丁寧に対応していく。 →詳細は資料３

表 関西国際空港 騒音値 (Lden) 単位：**dB**

常時監視測定局	環境基準	予測レベル	2025年度	（参考）2024年度
南港	62	~40	30	21
汐見	62	－	34	36
二色	57	40~44	34	38
りんくう	62	－	34	35
小島	57	48~52	37	45

【まとめ】
○ 新飛行経路の運用開始より１年を経過し、基準を遵守した運用が行われている。
○ 今後、発着回数が増加していくことが想定されるため、引き続き環境監視結果を注視し、住民の生活環境への影響抑制の取組みを継続していく。

資料５

（事務局作成資料）

■「環境面の特別の配慮」の措置状況について

「環境面の特別の配慮」の運輸省（現国土交通省）からの回答　［平成10年4月27日］		措置状況
項目	内容（要約）	
1．大阪府南部の居住地域において騒音に関する苦情が生じている現状を踏まえ、将来予測をも考慮に入れた騒音影響を軽減するための措置	○ ディレイドフラップ進入方式の導入による航空機騒音の低減	○ 平成10年10月８日にディレイドフラップ進入方式をＡＩＰ（航空路誌）に記載 ◇ ギアダウン（車輪を降ろす）をできるだけ空港に近い位置で行う措置をＡＩＰに規定し、平成13年３月22日から運用開始 ◇ ギアダウン対策に係る騒音軽減調査を平成12年12月から平成14年２月まで実施 →　ギアダウン対策を行った機体は、対策を行わなかった機体と比較してピークレベルが約２ｄＢ低いことを確認 ◇ ＡＯＣ（関西国際空港航空会社運営協議会）の運航専門分科会において、上記対策の確実な実施を要請（平成14年10月）
2．早朝・深夜用経路の運用時間帯（午後11時～翌朝午前６時）をさらに拡大するための措置	○ 当面、航空交通や気象状態の状況を勘案しつつ、原則として６時台の後半に昼間用経路に切り替えるよう努力	○ 昼間用経路への切り替え　：　午前６時30分以降の離陸機から適用 ※深夜・早朝便は海上のみの経路を使用
3．新飛行経路の具体的な運用方法について、航空需要の動向や環境影響等を考慮した措置	○ 河和ルートは、二段階に分け移行。当初は北海道・東北便 ○ 北米西部・ハワイ方面の便は、二段階目で移行。二段階目への時期は、航空交通の混雑状況等を踏まえ、地元と協議	○ 河和ルートについては、平成10年12月３日から北海道・東北便の運用を開始 ○ 北米西部・ハワイ方面の便は、河和ルートに移行せず、陸域を飛行しない紀淡海峡ルートにより運用 ◇ 方面別適用経路の一部変更　第５回協議会において、大津ルートに北海道便の一部、河和ルートに羽田便が新たに飛行することが了承され、平成13年11月29日から運用を開始 ◇ 羽田便等飛行経路の一部変更　第12回協議会において、午後９～11時到着の羽田発便が河和ルートとほぼ同様のルートを逆方向に飛行することが了承され、平成19年９月27日から運用を開始 なお、同ルートは令和７年３月20日からの新飛行経路の運用開始時に廃止
4．大阪府域の陸地上空に入る際の最低飛行高度や飛行経路遵守に関する明確な担保措置	○ 航空機が陸地上空に入る地点の高度をＡＩＰ（航空路誌）により周知 ○ 安全確保のため緊急やむを得ない場合を除き、最低8,000フィート以上の高度を担保 **容量拡張に向けた飛行経路の見直し（湾内での経路長短縮）に伴い、令和７年３月20日から制限高度を最低5,000フィート以上に引下げ** ○ 最低飛行高度や飛行経路の遵守は環境監視体制の強化や航空会社への指導により担保	○ 平成10年10月８日に、飛行高度をＡＩＰに記載 ○ 飛行高度観測の結果、すべて制限高度以上であることを確認 ○ 経路外飛行件数（直近１年間：令和７年７月１日～令和８年６月30日） **安全運航186件　目的地変更１件　パイロット起因１件　その他５件　→ 計 193件** →　国交省・関西エアポート㈱がＡＯＣ等を通じ、航空会社に対し高度・経路の遵守についての周知徹底を要請 ◇ 国交省・関西エアポート㈱が経路外飛行の情報と問題認識を共有するための調整会議を設置（令和３年６月） →　新飛行経路導入に伴い、環境監視を強化するため、国交省・関西エアポート㈱・大阪府などの専門職等で構成する「環境影響に関する連絡調整会議」を令和７年３月20日に新たに設置（令和７年４月以降、毎月開催）
5．航空機騒音や飛行経路・高度等の苦情処理体制について、国交省と関西国際空港株式会社との責任の明確化と適切な役割分担に基づく強化措置	○ 関空会社（現：関西エアポート㈱） ・住民苦情の窓口 ・航空会社に対する遵守等の要請 ○ 国交省 ・航空会社に対する遵守等の指導 ・悪質と認められる場合は、事実の公表	○ 苦情・問合せの対応体制：365日24時間、関西エアポート㈱にて電話・メールで受付 ※問合せ窓口は、関西エアポート㈱ホームページに掲載 →　平日と夜間・土日で異なっていた問合せ窓口を一本化（令和７年３月20日～） ○ パイロット起因の経路外飛行が発生した場合、国交省から当該航空会社へ通報するとともに、再発防止の申し入れを実施 →　国交省・関西エアポート㈱がＡＯＣ等を通じ、航空会社に対し高度・経路の遵守についての周知徹底を要請（再掲）
6．航空機騒音（ピーク騒音レベルを含む）や飛行経路・高度等の迅速な情報提供などによる環境監視体制の強化措置	○ 陸地上空に入る地点における、常時騒音測定及び定期的な飛行高度観測 ○ 測定結果の情報提供が迅速に行える体制の検討 ○ 高度違反、経路逸脱があった場合の情報提供及び原因究明	○ 騒音測定及び飛行高度観測の強化（平成10年12月～） 項目／方法／強化措置 航空機騒音／常時測定／大阪市南港野鳥園及び貝塚市市民の森に新たに常時測定局を設置（計５局） 航空機騒音／定点測定／測定期間：３日間→７日間（９地点） 飛行経路・高度／定点観測／大阪市及び貝塚市を新たに追加（計５地点） ○ 測定結果等の情報提供体制 ＊ 関西エアポート㈱から、地元自治体へ、航空機騒音のピークレベル等のデータ提供を実施（平成10年12月３日～） ＊ 関西エアポート㈱のホームページにより、以下の情報を一般公開 ・航空機騒音測定結果等(平成11年４月１日～) ・騒音瞬時値（令和４年３月11日～） ・航跡動画、重ね合わせ航跡（令和７年３月20日～） ○ 高度違反・経路外飛行の場合の対応 →　苦情の有無に係わらず、関西エアポート㈱が地元自治体に連絡 →　毎月開催する環境影響に関する連絡調整会議において、国交省・関西エアポート㈱・大阪府が、騒音及び飛行経路・高度の分析、情報共有を実施 →　国交省・関西エアポート㈱がＡＯＣ等を通じ、航空会社に対し高度・経路の遵守についての周知徹底を要請（再掲）

第３５回　関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会
出席者名簿

■　国土交通省

大阪航空局長	梅　澤　大　輔
大阪航空局関西国際空港長	木　原　正　智
近畿圏・中部圏空港課長	川　端　達　史

■　大阪府

大阪府知事代理　政策企画部長	彌　園　友　則

■　大阪市

大阪市長代理　計画調整局交通政策室長	野　口　　浩

■　泉州市・町関西国際空港推進協議会

会長：和泉市長	辻　　宏　康
泉大津市長	南　出　賢　一
貝塚市長	牛　尾　治　朗
高石市長	畑　中　政　昭
阪南市長	上　甲　　誠
忠岡町長	是　枝　綾　子
熊取町長	藤　原　敏　司
田尻町長	山　本　一　男
岬町長	田　代　　堯
堺市長代理　副市長	佐　小　元　士
泉佐野市長代理　副市長	西　納　久仁明
岸和田市長代理　総合政策部企画課長	中　井　　学

■　関西エアポート株式会社

代表取締役社長CEO	三　上　康　章

■　新関西国際空港株式会社

代表取締役社長	保　田　　亨